環境経営レポート

こコアクション21

活動期間: 2020 年 4 月 1 日~2021 年 3 月 31 日 (発行日: 2021 年 7 月 26 日)一部変更: 8 月 20 日

認証番号 0006704



特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目 2 - 3 7 TEL:023-679-3340 FAX:023-679-3389 URL: http://eny.jp/



特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 環境経営方針

本法人の目的である「かけがえのない地球環境と山形の豊かな自然を守り、共存し、調和するため、社会を構成する人々及び団体が、環境を守る役割と活動の意義を理解し深め、自主的な取り組みを促進し、また、持続的発展が可能な社会の実現に寄与する」を具現化するため、エコアクション 2 1 環境経営システムを構築運用するとともに、下記のような取り組みを推進していくことを誓約いたします。

- 1 地球温暖化防止のため、自ら排出する二酸化炭素の削減に取り組みます。
- 2 資源の有効利用のため、自ら排出する廃棄物の削減に取り組みます。
- 3 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 4 山形県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動を推進します。
- 5 エコアクション 2 1 地域事務局として、エコアクション 2 1 認証登録制度の普及 を推進します。
- 6 子どもたちの科学への興味と環境マインドを育む活動を推進します。
- 7 グリーン購入に努めるとともに、地域の3 R 活動を推進します。
- 8 地域の環境保全活動団体と連携し、森林整備活動や水資源を守る活動を支援していきます。
- 9 地域の環境整備活動に積極的に参加、貢献します。
- 10 環境関連法規等を遵守します。
- 11 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

令和元年10月1日改訂 特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合 直樹

2-1. 事業所名及び代表者名

■ 特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合 直樹

2-2. 事業の概要

- 地球温暖化防止活動の推進(山形県地球温暖化防止活動推進センター)
- エコアクション21の認証登録及び普及推進(中核地域事務局)
- 山形県環境保全協議会事務局
- やまがた環境カウンセラー協議会
- 山形県環境科学研究センター情報棟委託管理業務、山形県産業科学館指定管理業務



■ 住 所: 〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目2-37 山形エコハウス内

連絡先: TEL023-679-3340 FAX023-679-3389

Email: eny@chive.ocn.ne.jp URL: http://eny.jp/

■ 担当者:環境管理責任者 大場 健一

環境管理担当者 河合 麻衣 長岡 修一

2-4. 事業の規模

■ 設立:平成16年3月

■ 収入額と職員数(事業年度:4月1日~3月31日)

	令和 2 年度
収入額(千円)	138,084
職員数(人)	19
会員数※	92

※ 会員数は、各年度の総会時の正会員とパートナー会員、賛助会員の合計数である。

- 事務所の延床面積:208.15 ㎡ (63.07 坪)2 階建て
- 従業員数は4月1日現在の人数とする。 (本部6人、山形県環境科学研修センター情報棟2人、山形県産業科学館11人)



「エコペンファミリー」

山形県地球温暖化防止活動推進センターのキャラクターです



2-5. 実施体制

代表者 代表 河合 直樹 環境管理責任者 事務局長 大場健一

 事務所(本部)
 山形県産業科学館
 山形県環境科学研究センター情報棟

 廃棄物担当
 二酸化炭素担当 (環境負荷等入力担当)
 水・環境整備活動担当
 担当
 担当

 二藤部 真澄
 長岡 修一
 菊地 菜
 佐藤 浩康
 安藤 昭

環境事務局

長岡修一、河合麻衣

	役割∙責任∙権限
	・環境経営システムの実施に必要な人、もの、金を準備
	・実施体制の構築及び周知徹底
	・環境経営方針の策定
代表者(代表)	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
	→環境経営レポートの承認
	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制等の周知
	・環境関連法規等の取りまとめ表を作成
理技体理事にお	・環境経営目標・環境経営計画書を確認・承認
環境管理責任者	・環境上の緊急事態の想定と準備
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認・承認
	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・教育訓練の実施
環境事務局	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・文書・記録・手順書等の作成、管理
	・環境上の緊急事態の想定に基づく訓練の実施
	・環境活動の実績集計
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認・評価
EA21推進委員会	・問題点の発見、是正、予防処置の実施
	・内部コミュニケーション
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
工化木具	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境ネットやまがた

3.環境ネットやまがたの紹介

沿革

1998 年 やまがた環境カウンセラー協議会設立

2004年3月 NPO 法人化·名称変更

2004年4月 山形県地球温暖化防止活動推進センター指定

2005年4月 エコアクション 21 地域事務局認定

2005年7月 山形県環境保全協議会事務局受託

2007年6月 山形県環境学習支援団体認定

2007年7月 事務所移転(村山市→山形市城西町)

2010年8月 事務所移転(城西町→山形エコハウス)

2011年2月 エコアクション 21 認証登録



2020年5月環境ネットやまがた通常総会。

※エコアクション 21 地域事務局の認定を受けている NPO 法人では全国で初めての認証

2014年4月 山形県環境科学研究センター情報棟の委託管理業務

2018年4月 山形県産業科学館の指定管理業務

2020年4月 エコアクション 21 中核地域事務局認定

2020年10月 山形エコハウス (現事務所) の敷地・建物を東北芸術工科大学より購入

4.対象範囲

環境ネットやまがた

認証·登録範囲(全組織·全活動)

1) 取組の対象組織

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

2) 取組みの対象活動

地球温暖化防止活動(山形県地球温暖化防止活動推進センター)

エコアクション 21 地域事務局活動

山形県環境保全協議会事務局活動

やまがた環境カウンセラー協議会活動

- ※「山形県環境科学研究センター情報棟」…テンポラリーサイト
- ※「山形県産業科学館」…指定管理者



5-1. 環境経営目標の策定

本法人は、2010 年 11 月から、エコアクション 21 に取り組みを開始し、2015 年度の二酸化炭素削減量は、26%(2011 年度比)を達成しております。

一方で、2015 年度にパリ協定が制定され、日本における二酸化炭素削減量は、2030 年度に 2013 年度 比で、26%削減となっており、以後、当法人においてもこの目標を参考に設定することとし、長期目標について、上 記の 26%上回る 2030 年度で 30%削減(2013 年度比) とし、2016 年度から毎年 2%ずつ削減し 15 年 活動で 30%削減することとし活動しております。

ただし、ガソリンの個別目標は使用量がコントロールできないため、直近2年間(2018・2019年度)の平均から算出した燃費で管理しています。



5-2. 環境経営目標(中長期)の設定

	中長期目標	中長期目標(2016 年度から 2020 年度まで 2013 年度比 10%削減)				
	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	
二酸化炭素排出量	2013 度比	2013 度比	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	
	2%削減	4%削減	6 %削減	8%削減	10%削減	
廃棄物排出量	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	
	2%削減	4%削減	6%削減	8%削減	10%削減	
総排水量	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	2013 年度比	
(水使用量)	2%削減	4%削減	6 %削減	8%削減	10%削減	

5-3.2020年度環境経営目標(環境への負荷と本来業務)の実績と評価

	2013 年度実績	2020年4月~2021年3月			
	(基準値)	目標値	実 績	差 異(達成率)	評価
■二酸化炭素排出量	3,493kg-CO2/年	2013 年度比 10%削減 3,144kg-CO2/年	3,555kg-CO2/年	411kg-CO2/年 増加 (-13.1%)	×
・電気使用量	5,264kWh/年	2013 年度比 10%削減 4,738 kWh/年	4,035kWh/年	703kwh/年 削減 (+14.8%)	0

都市ガス	25.93m3/年	2013 年度比 10%削減 23.34m3/年	19.93m3/年	3.41m3/年減 (+14.6%)	0
・ガソリン燃費 (使用量)		16.7km/L	17.02km/L (866.37L)	0.32km/L 增 (+1.9%)	0
■総排水量 (水使用量)	75.64m3/年	2013 年度比 10%削減 68.08m3/年	54.54m3/年	13.54m3/年 削減 (+19.9%)	0
■一般廃棄物排出量	1,008.5kg/年	2013 年度比 10%削減 908.1kg/年	293.9kg/年	614.2kg/年 削減 (+67.6%)	0
・コピー数量の削減	251,236 枚/年	2013 年度比 10%削減 226,112 枚/年	167,043 枚/年	59,069 枚/年 削減 (+26.1%)	0

- ※ 達成率 ◎ ···+10%以上 ○···+10%未満~0%以上 △···0%未満~-10%以上 ×···-10%未満
- ※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力 2013 年度実排出係数 (0.591kg-CO2/kWh) を使用。

■二酸化炭素排出量

1)全体(目標:10%削減)

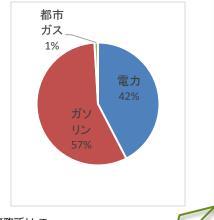
二酸化炭素排出量は、目標に対し 13.1%増加しました。 割合としては、グラフの通り、電力 42%、都市ガス 1%、 ガソリン 57%の割合となっており、未達成の要因はガソリン使用量が 約 100L 増加したためです。

※「電気」からの二酸化炭素排出量については、「購入電力」として算出しております。

※山形エコハウスは、ZEH対応で設計されて一般家庭を想定し、太陽光発電の

発電量が電気使用量を上回る想定で二酸化炭素を排出しないものとして建てられましたが、事務所として

使用しているので、電気を少し購入しています。





⟨□ 太陽光発電 5kW(上)と、下は太陽熱温水器です。効率よく発電するように、山形エコハウスは真南に向いております。

2020 年度の売却電力は 2,100kWh

2020 年度の購入電力は 2,542kWh

家庭として使用した場合は、1年間を通して±0となる設計ですが、事務所として使用していますので、差の442kWhは購入しています。

2) 電気使用量(目標:10%削減)

目標に対し 14.8%削減しました。

夏と冬に電気使用量は多いのですが、7月と11から3月の使用量が少なくなっており、省エネ運動の効果が現れていると考えられます。

※電気使用量は発電量-売電量+買電量で算出しております。







温暖化防止の夏のイベントで 団扇を配布したりしております。

3)都市ガス使用(目標:10%削減)

昨年度より目標に対して14.6%削減しました。

都市ガスはお湯を沸かす際に使用するのがほとんどで、お湯を 沸かす量が増えると増加します。

また、会議、イベント等でペットボトル飲料を配るのではなく、給水器を 持参します。



↑電気ポットではなく エアポットを使用

イベントで大活躍。給水器持参でゴミ削減

4) ガソリン (燃費 16.7km/L 以上)

法人所有の公用車は、1 台を使用しておりますが。委託事業で県内全域を運行しており、エコドライブには心がけてはおりますが、委託事業のため、削減できず、今年度から燃費の目標としました。結果、17.02km/L と、目標を達成することができました。しかし、昨年度に比べ使用量は約 100L 増加しています。



所有車 → 日産 ノート

5)ペレット使用量

暖房と給湯用に木質ペレットを使用しています。ペレット等の木質バイオマスは燃焼させても発生した二酸化炭素は、木が成長する過程で吸収するというカーボンニュートラルという考え方に基づき、かつ地元の木材で地元の工場で製造されたペレットであるため輸送の際の二酸化炭素も発生しないことになり、当法人でのペレット使用による二酸化炭素排出量はカウントしていませんがペレットの使用量の把握は継続します。

2020 年度のペレット使用量は 950kg でした。



☆オーストリア製のペレットボイラー(右)と、ペレット燃料を入れるサイロ(真ん中)と蓄熱槽(左)。家庭用ペレットボイラーとしては全国で初の導入。

■総排水量·水使用量(目標:10%削減)

水使用量は、目標に対し、19.9%削減しました。今後も 節水につとめます。また雨水を貯水し、散水・植物の水やりに 利用します。





緑のカーテン実施中。 ゴーヤの水やりに雨水を利用。

←雨水を貯水しておりま

■廃棄物排出量

1) 一般廃棄物(目標:10%削減)

目標に対して 67.6%削減しました。総量、293.9 kgの内、可燃ごみが 34.4 kg(11.7%)の他は、地区の 廃品回収などリサイクルに回しています。紙の分別については、分かりやすく表示し、片面コピーについては、内部 資料をコピーする際などに再利しております。

大幅に削減した理由としては、新型コロナウイルス感染拡大防止から研修会などのイベントが中止になり、印刷物が激減したことが考えられます。

2) 産業廃棄物

産業廃棄物の排出は不定期ですが、2020 年度の産業廃棄物は、木くず、廃プラ、廃蛍光灯でした。いずれも少量で約2年間分ですが、マニフェスト管理や産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告も済ませています。



↑紙の分別に取組み、裏紙の利用や封筒を再利用しております。



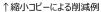
↑インク、テプラーなどはリサイクルしております。

■コピー数量の削減(目標:10%削減)

目標に対して 26.1%削減でした。新型コロナウイルス感染拡大防止でセミナーなどの開催が中止になったのが理由と考えられます。

環境ネットやまがたでは、山形県温暖化防止活動推進センターやエコアクション 2 1 地域事務局のほか山形県環境保全協議会の事務局を有しており、その資料などを作成するコピー数は、かなりの量になります。数少ない資源の使用量を削減するのも重要なことと捉え、無駄なコピーを削減するよう努めています。また、PDF化による資料の保存にも取り組んでおります。







↑PDFでハードディスク管理

■ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する目標

新型コロナウイルス感染拡大防止で対面事業を WEB 配信など工夫しながら、以下のように環境活動計画を策定し、その取組状況の評価を以下のように行いました。



※評価: ◎…+10%以上 ○…+10%未満~0%以上 △…0%未満~-10%以上 ×…-10%未

①山形県地球温暖化防止活動推進センター事業

活動·取組み項目 (事業)	目標値	担当	実績値等	評価
■地球温暖化防止対策コ	■推進員候補者研修を3回実施する。		3 回	0
 ーディネーター設置及び普	■家庭のアクション参加登録 15,000 件	二藤部	19,463 人	0
及啓発推進事業	■イベントでの家庭のアクション呼びかけを2回実施		2 回	0
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	■山形県地球温暖化防止対策推進事業所登録 延べ 350 社		106 社	×
	■推進員フォローアップ 1回、環境マイスターフォローアップ研修を3回開催		3 回	0
	■地域協議会等と連携したイベントを4回開催し、啓発活動を行う。	— 3.1. 4 0	4 回	0
■地域における地球温暖	■山形エコハウス来場者数 1,000 人/年	二藤部	560 人	×
化防止活動促進事業	■木質バイオマス普及啓発イベントを開催	菊地	1 回	0
	■エコカップやまがたを開催し、取組事例 70 件収集する。		49 件	×
	■エコカップやまがたを開催し、参加者 70 名。		33名	×

	■COOL CHOICE 賛同数 2450 件		5389 件	0
	■学校の「COOL CHOICE」を探そう実施		済	0
	■やまがたオンライン環境展映像作成3本		3本	0
■家庭や事業所の省	■地球温暖化に関する講演会開催(1回)	一 二藤部	1 🛽	0
エネ活動事業業務	■工]住宅市民講座の開催(1回)		1 🛽	0
	■住宅の省エネ相談会実施(3回)		3 🛽	0
	■小学生向け副読本の原稿案作成		_	0
	■山形県環境科学研究センター情報棟来館者 360 人/年		829 人	0
■環境エネルギー学習	■環境教室と出前講座での講師 70 回/年	安藤	101回	0
機能拡充推進業務	■山形県環境アドバイザーの派遣 10回/年		6 回	\triangle
	■山形県地球温暖化防止活動推進員の派遣 20回/年		18 回	\triangle
■ Jクレジット制度モニ	■太陽光発電のクレジットを創出する		済	0
タリング委託事業	■木質バイオマス発電のクレジットを創出する	金澤	済	0
	■参加申込に関する入力作業		済	0
■和の住まい推進リレーシ	■ シンポジウムを 1 回開催する	二藤部	1 回	0
ンポジウム	■参加者 50 名を目指す		77 名	0
■次世代自動車の普及と	■森林整備活動の実施	二藤部	済	0
森づくり活動	■環境・工作教室の開催	大場	済	0
	■県庁前急速充電器の管理	7 -70	済	0
■省エネプラットフォーム事	■省工ネ相談支援事業(12 社 39 回)	<u> </u>	12 社 26 回	Δ
■ 有エイノフットノオーム事業	■省エネルギーセミナー(山形・庄内 2 回実施)	大 仲	_	×
*	■省エネプラットフォーム連絡協議会 2 回		2回	0
■再生可能エネルギー設	―設 ■補助事業の普及啓発(パンフレット等配布) 伊藤		済	0
備導入事業費補助金業■補助金の受付、一次審査、現地調査等業務		阿部	済	0
務	■導入検討から施工に至る各段階の相談対応		済	0







職員研修

エコカップやまがた

事業者の省エネセミナー (オンライン)

②エコアクション 2 1 等普及啓発・認証・登録事業

活動・取組み項目 (事業)	目標値	担当	実績値等	評価
	■登録審査4件		6件	0
■エコアクション 2 1等	■力量向上研修及びフォローアップセミナーを 1 回ずつ開催する		2 回	0
普及啓発·認証·登録 事業	■普及セミナーを1回開催する。	長岡	0 回	×
	■Eco-CRIP 申し込み数 1 0 件		3 件	×



エコアクション 2 1 10 年継続事業所様への 感謝状贈呈式



フォローアップセミナー(盛岡市)



審査員力量向上研修会

③その他の事業

活動・取組み項目			実績	評
(事業)	目標値	担当	値等	価
■情報発信	■ENY ニュース 2 回 / 年発行	二藤部	2	0
	■Web 版 ENY ニュース 1 回 / 月発行	菊 地	12	0
■グリーン購入の推	■事務消耗品は可能な限りグリーン購入につとめる。	_ ++ +5	100%	0
進	■その他の購入品も可能な限りグリーン購入を意識する。	二藤部	済	0
■地域環境保全へ	■エコハウス周辺の清掃(ゴミ拾い、落ち葉掃き、雪はき等)	大場	清掃	0
の協力	■地域の環境に関わるボランティア活動に年5回以上参加		4 🛭	Δ

■二酸化炭素排出量の削減

- 1)消費電力の削減
 - ◎ 室温は、暖房期 20℃、冷房期 28℃で 管理する
 - ◎使用していないエリアの照明は消す
 - ◎ OA 機器・家電製品の待機電力を削減する
 - ◎扇風機の使用
 - ◎グリーンカーテンを実施する
- 2) 工コ運転の実施
 - ○アイドリング停止の徹底
 - ○「エコドライブリレー」ステッカーの掲示
 - ○「燃費記録表」で燃費の確認

■総排水量(水使用量)の削減

- ○雨水を貯水し、散水・洗車・植物の水やりに 利用する
- ○手洗い時の節水(掲示)

■廃棄物排出量の削減

- 1)廃棄物分別の徹底
 - ○分別の徹底
 - ○廃棄物置場の整理
 - ○案内は極力メールで行う
- 2) コピー数量の削減
 - ○配布物の数量管理の徹底
- ○コピー用紙の裏表利用・縮小コピーなど
- 3) 再利用の促進
 - ◎プリンターインク、テプラテープはリサイクルに出す
- 4) グリーン購入の推進
 - ◎事務消耗品は可能な限りグリーン購入につとめる
 - ◎その他の購入品も可能な限りグリーン購入を意識する

■次年度の環境経営目標について

2020 年度で中長期目標が一区切りしたこと、二酸化炭素排出量が未達成であったことなどを受けてデータを見直し新たに中期目標を策定したいと思います。また、2021 年度よりパリ協定の取組期間が始まり、日本も温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 46%削減と 2050 年度カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。これに伴い、国の事業者部門の削減率が 50%と計画しております。したがって、2030 年度目標を 2013 年度比で 50%削減するという長期目標に改訂して取り組んでいきます。

本法人が遵守すべき主な環境関連法規等は以下のとおりです。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物を排出する場合:委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返送確認・交付状況報告。	0
家電リサイクル法	特定家電を廃棄する場合:リサイクル料金の支払い。家電マニフェストの写しの交付を受ける。	0
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合:リサイクル費用の負担。登 録業者に引き渡す。引取証明書を受け取る。	0
消防法	ペレットの保管:1トン以下。	0

関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去5年はもとより、法人設立以来一度もありませんでした

8.代表者による全体評価と見直しの結果

環境ネットやまがた

代表者による全体評価と見直しの結果

2020 年度の環境目標は昨年に引き続き、二酸化炭素排出量において達成できませんでした。原因はガソリンの使用量で、委託事業により削減できませんでした。しかし、それ以外の目標は、すべて達成しております。したがって、二酸化炭素排出量の目標について、見直すことを指示しました。

また、「自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する目標」について、すべての事業を完了し、目標についても概ね達成することができました。また、以下については今後の課題とします。

1. 環境経営システムが有効に機能しているか

経営面での PDCA は有効に機能しているが、指定管理者ではあるが産業科学館でも独自の PDCA を回し、 その成果を環境活動レポートで紹介してほしい。特に環境経営方針の 6.に掲げる「子どもたちへの科学への興味と 環境マインドを育む活動を推進する」ための活動が科学館の最重要項目と考える。

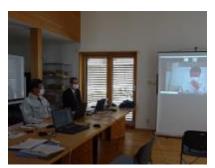
2. 環境への取組は適切に実施されているか

業務自体が環境への取組なので、全体的な意識は高い。ガソリン使用量は委託事業により削減が難しいが、現在のリース車をより高燃費車に切り替えるなどを検討して欲しい。

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合 直樹







水生生物調査 河川クリーンアップ

SDGsのWEBセミナー

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37 TEL:023-679-3340

E-mail: eny@chive.ocn.ne.jp URL: http://eny.jp